

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		竣工段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
0 建築物の環境品質									2.8
Q1 室内環境					0.37				2.5
1 音環境				1.9	0.15	2.8	1.00		2.1
1.1 騒音				2.0	0.44	2.0	0.50		
1 室内騒音レベル				2.0	1.00	1.0	0.50		
2 設備騒音対策				-	-	3.0	0.50		
1.2 遮音				2.1	0.44	3.7	0.50		
1 開口部遮音性能		<住居部分>T-2のサッシを採用		2.0	0.86	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能		<住居部分>Dr=50		3.0	0.14	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	1.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		<住居部分>Lr=50		-	-	4.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	0.13	-	-		
2 温熱環境				1.9	0.35	2.6	1.00		2.0
2.1 室温制御				2.4	0.50	3.0	0.50		
1 室温				3.0	0.50	3.0	0.63		
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-		
3 外皮性能				1.0	0.28	3.0	0.38		
4 ゾーン別制御性				3.0	0.22	-	-		
5 温度・湿度制御				-	-	-	-		
6 個別制御				-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-		
8 監視システム				-	-	-	-		
2.2 湿度制御		<住居部分>除湿機能を有している		2.0	0.20	4.0	0.20		
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境				1.9	0.25	3.4	1.00		2.3
3.1 昼光利用				2.1	0.37	3.4	0.35		
1 昼光率		<住居部分>昼光率:5.9%		1.0	0.42	5.0	0.50		
2 方位別開口				-	-	1.0	0.30		
3 昼光利用設備				3.0	0.58	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				1.0	0.21	4.0	0.35		
1 照明器具のグレア				-	-	-	-		
2 昼光制御		<住居部分>カーテン及び上階バルコニーによる庇により制御		1.0	1.00	4.0	1.00		
3 映り込み対策				-	-	-	-		
3.3 照度				3.0	0.10	-	-		
3.4 照明制御				2.0	0.32	3.0	0.29		
4 空気質環境				3.4	0.25	3.8	1.00		3.5
4.1 発生源対策				4.0	0.54	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		全面的にF の建材を採用		4.0	1.00	4.0	1.00		
2 アスベスト対策				-	-	-	-		
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-		
4 レジオネラ対策				-	-	-	-		
4.2 換気				3.0	0.34	3.6	0.38		
1 換気量				3.0	0.45	3.0	0.33		
2 自然換気性能		<住居部分>窓面積/床面積:0.24		3.0	0.11	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.45	3.0	0.33		
4 給気計画				-	-	-	-		
4.3 運用管理				2.5	0.13	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御				2.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		2.9
1 機能性				2.8	0.40	2.6	1.00		2.7
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性				3.0	0.11	-	-		
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.11	3.0	1.00		
3 バリアフリー計画				3.0	0.77	-	-		
1.2 心理性・快適性				1.6	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観		<事務所>天井高:4m		4.0	0.22	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				1.0	0.21	-	-		
3 内装計画				1.0	0.57	1.0	0.50		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		汚れやすい場所には防汚性のある床・壁材を採用、水切りの設置、防錆対策、段差対策等		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		排水経路の確保、清掃用流しの設置、高所作業対策、清掃用照度の確保等		4.0	0.50	-	-		
3 衛生管理業務				-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.31	-	-		2.9
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-		
1 耐震性				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:フローリング:20年、壁・天井:ビニルクロス:20年		5.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		2種類以上にB以上を採用、Eの使用なし。		5.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.23	-	-		

2.4 信頼性			2.8	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	光とメタルの引き込み、浸水対策	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			3.4	0.20	3.2	0.50	
1	階高のゆとり	<住居部分>階高:3m	3.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	<物販・飲食・工場>壁長さ比:0.23、<事務所>壁長さ比:0.18	4.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.20	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.60	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.33	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		まちなみに調和、緑地による景観形成、視点場からの景観形成	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物の熱負荷抑制			2.7	0.26	-	-	2.7
2 自然エネルギー利用			2.8	0.22	-	-	2.8
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.6	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの効率化		潜熱回収型の給湯器を採用	4.9	0.37	-	-	4.9
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	5.0				
		集合住宅の評価	4.7				
4 効率的運用			3.0	0.15	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.78	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.22	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.63	-	-	2.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		排出率:77%	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪・駐車スペース確保、荷捌きスペース確保、導入路検討	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満足	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	